

## 県営住宅における健康団地の取組について

### 1 次期指定管理者への健康団地業務の追加

県内には200の県営団地があり、約6万4千人の方が生活しています。その約半数は65歳以上の高齢者であり、高齢化に伴い、人とのつながりの機会が減るといった問題や、お一人暮らしの高齢者の見守りが必要といった課題があります。

そのような状況の中、県では、多様な交流やコミュニティ活動の活性化により、だれもが健康で安心していきいきと生活できる「健康団地」への再生を目指しています。

「健康団地」の取組においては、県と入居者だけではなく、市町、福祉団体、NPO法人等と連携し、健康づくり、コミュニティづくりの取組を進めていますが、入居者のニーズや団地施設の利用状況等を把握できる指定管理者の業務に、このような「健康団地」の取組を追加します。

### 2 主な健康団地業務

#### (1) 団地のニーズや状況の把握

- 団地自治会に対し、ヒアリング等を行い、団地のニーズや状況を把握

#### (2) 取組メニューの拡充

- 団地のニーズ等を踏まえ、企業や大学等への働きかけや、まちづくりコンサルタントなどの活用により、取組メニューを拡充

#### (3) 取組のマッチング

- 県と調整の上、団地と取組メニューをマッチング

#### (4) 取組の実施

- 団地自治会との日程等の調整や入居者への周知、当日の会場設営や受付などの運営を行い、取組を実施

#### (5) 効果の測定

- 取組を行う前後に、参加者に対して、県が別途指示する方法で、効果の測定

### 3 これまでの健康団地の取組事例

多くの県営団地には集会所があり、以前は子供会や婦人会、老人会など様々な集まりがありました。そのような機会もなくなってしまっている団地がほとんどです。

そこで、県では人と交流するきっかけとして、集会所を活用して、入居者や近隣住民向けに、体操教室のような健康づくりに限らず、健康麻雀や歌う会などのレクリエーションといったイベントや講習会などを開催しています。

#### (1) ボッチャなど

- 県から講師を派遣し、団地の集会所でボッチャの体験会を開催しています。
- ボッチャは、障がい者スポーツであることから、高齢者も無理なく楽しめ、室内で実施可能なので、夏でも熱中症の心配がありません。また、勝敗が付くことで、盛り上がり、チームを組んで行うので、参加者同士のコミュニケーションが図られることから、参加者に好評です。
- その他、ボッチャと同様に、高齢者も無理なく楽しめる、音楽に合わせて椅子に座ったまま体を動かすエクササイズなども行っています。みんなで一緒に行うことから、コミュニティづくりや孤独・孤立対策にもなっています。

## (2) シニア合唱

- 県から若手音楽家団体に委託し、月1回程度のコーラスのレッスンや年1回の成果発表会を開催するシニア合唱事業を実施しています。
- 集まって合唱の練習をして交流を深めるだけでなく、本格的なホールで正装して観客の前で歌う発表の場を設けていることがポイントです。本番に向けての練習や、舞台での緊張感・期待感、発表後の達成感から、高齢者が心身ともに元気になっていきます。

## (3) 花壇づくり

- 団地近くの県立の農業高校と連携し、春と秋に団地前の公園の花壇に、生徒と入居者が交流しながら、一緒に季節の花を植える取組を行っています。
- 花を植えるという共同作業により、自然と会話も生まれ、高校生にとっては地域貢献を実感できる場にもなっています。また、入居者にとっては、植えて終わりではなく、日々の水やりや開花状況の確認など、毎日外出する楽しみができ、継続的な健康づくり、コミュニティづくりに寄与しています。

## (4) 移動販売

- 県から包括連携協定を締結する企業に働きかけ、高齢者等への生活支援として、移動販売を実施しています。
- 移動販売は、日常の買い物が困難な入居者への支援になるだけではなく、外出を促すきっかけにもなり、住民同士が顔を合わせ、商品を選んだり会計に並んでいるときに会話が生まれるなど、地域住民の交流を促進し、見守りやコミュニティの活性化にもつながります。

## 4 参考（その他の取組事例）

### (1) 団地内コミュニティルームでの活動

県では、地域に開かれたコミュニティ活動の拠点として、空き住戸をコミュニティルームとして整備しています。また、建替えを行う県営住宅においては、あらかじめコミュニティルームを整備しています。

市と連携して、コミュニティルームを市から派遣された生活援助員の活動拠点とし、電話や訪問による定期的な見守り、生活全般の身近な相談に対応し、必要に応じて福祉や介護サービスへのつなぎを行っている団地があります。

また、コミュニティルームにNPO法人が入居し、子供の勉強サポートや食の支援のほか、クリスマス会などのイベントを定期的に開催している団地もあります。

### (2) 団地への大学生入居

若年層の入居によるコミュニティの活性化を目指し、建替えのため入居者の募集を停止している県営団地に大学生が入居し、コミュニティ活動に参加する取組を行っています。

団地内の高齢化が進み、地域活力・コミュニティ機能の低下という問題がある中、大学生が自治会の主催する秋祭りや餅つきに積極的に参加して住民と交流したり、大学生が中心となってスマート相談室を開催したりしています。

※ 空き住戸等を活用する取組を行う場合には、団地入居者の健康増進などに資する等の条件を満たした上で、県の許可が必要となります。



【ボッチャ】



【エクササイズ】



【シニア合唱 (レッスン)】



【シニア合唱 (成果発表会)】



【花壇づくり】



【移動販売】